

空き家の相談窓口で買取

賃貸物件化して流通も



情報都市

月10件ほど相談あり

情報都市は、大阪府泉佐野市を中心に約40年にわたって不動産事業を展開している。前期売上13億円のうち、約75%を売買事業部、約25%をビル事業部が占める。自社でリフォームも行っており、その9割以上は自社で取引する中古物件のリノベや団地のリフォームだ。そのため改修部門で独立した売上は計上していないものの、昨年だけでビル・マンション・戸建て等約50件、団地は総戸数329件を手掛けている。

同社は、2022年10月から「空地空家の窓口」開設をきっかけに、空地・空家に関する取り組みを始めた。「空地空家の窓口」では、空地空家の所有者に対して、売却、賃貸化、解体・駐車場活用などの提案を行う。相談スタッフは100%宅地建物取引士を保有している。同社での売却や買取以外に



吉田良夫社長

不動産事業や建築設計を手掛ける情報都市(大阪府泉佐野市)は、地域の空き家活用に力を入れている。2022年から泉佐野市を中心に、「空地空家の窓口」の設置、一般の人を巻き込んだ「古民家サポーター」の運営など活動してきた。

「古民家サポーター」で地域の人の巻き込む

から離れた立地なので、中古で傷んだものを売りに出しても全然売れない。また築40〜50年の古家だと、一般の人は住宅ローンも組めません。業者が買い取ってリフォームして、住宅ローンを組める状態にしないとけない。解体せざるを得ないこともある。世界的にもこれだけ解体する国はないと思います。SDGの観点から見てもいい。不動産会社として、できるものは維持していくことが社会正義だと信じている」(吉田社長)



▲第3回「空き地見学ツアー&空き家リノベ事例見学会」の様子。空き地にコスモスを植える案などが出た

同社では買い取った空き家を2つに分類する。中古住宅としてリノベして販売する物件と、立地上りリフォームしづらい、またはリフォームしても売れにくい物件だ。前者のような空き家は月2ペースで販売している。後者は、安価に改修して賃貸住宅にするこ

情報都市 空き地・空き家の取り組み

2018年	大型台風きっかけに空き家の相談増
2022年	「空地空家の窓口」開設
2023年	「古民家サポーター」結成、ツアーなど開催

会社概要	
会社名	情報都市
代表者名	吉田良夫
設立年	1986年
本社所在地	大阪府泉佐野市
従業員数	20人
事業内容	不動産売買(仲介・買取・販売代理)、不動産賃貸仲介・家主代行業務、建築設計
売上高	13億円

「空き地・付近の人たちと、空き家のリアルな現状を通して空き家問題を考えるべく、これをきっかけに、活用できる空き地を参加者と回り、活用

省エネ塗料

キ・ル・コ遮断熱

遮断熱性 × 伸縮性 × 耐久性

株式会社 シンマテリアルワン
Tel: 03-5541-6075

【住環境改善におすすめ塗料】

- ☆ハイブリッド省エネ塗料：キ・ル・コ遮断熱
- ☆専用錆び止め(弱溶剤)：キ・ル・コプレミアム錆止め
- ☆防カビ防藻防菌塗料：キ・ル・コかびストップ
- ☆窓専用省エネ塗料：ハイパーGキ・ル・コ

【アクアシリーズ始めました。】

～「キ・ル・コ」アクアシリーズ～

- ☆廉価版シーラー：キ・ル・コアクアシラー
- ☆専用水性錆止め：キ・ル・コ錆止アクア
- ☆艶指定3/5/7部：キ・ル・コクリアトップアクア

断熱 耐久 伸縮 密着 防水